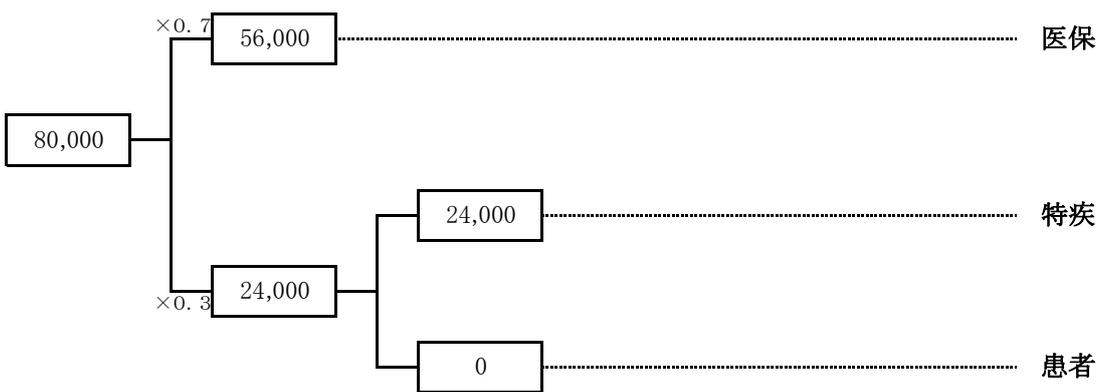


事例9 70歳未満本人入院外(低所得)・公費(特定疾患)

国保

訪問看護療養費明細書										6 訪問	1 国	3 3 併	2 本人
公費負担者番号①	5	1								公費負担医療の受給者番号①			
公費負担者番号②	8	0								公費負担医療の受給者番号②			
氏名										特記			
職務上の事由										19 低所			
保険	請求 円	※ 決定 円	負担金額 円	※高額療養費 円									
合計	80,000												
公費①			空欄	※公費負担金額 円	備考								
公費②	80,000		0	※公費負担金額 円									

- ※ 高額療養費が発生しない場合 → 特定疾患医療受給者証(低所得)が提示されたものの、高額療養費が発生していないので、「保険」の「負担金額」欄は空欄
- [療養の給付] → 「公費①」の51(特定疾患)の「請求」欄は、この事例では51対象部分(24,000)で分点が生じていないので空欄、「負担金額」欄は当該患者に係る月額限度額を記載(0円の場合は、空欄とする)
- 「公費②」の単県80の「請求」欄は、「保険」の「請求」欄と同一内容を、「負担金額」欄は、患者の最終負担額を記載



〈保険〉70歳未満 国保 定率3割
 〈公費①〉51(特定疾患) (所得区分:低所得) 月額自己負担限度額 0円
 〈公費②〉単県80 定率1割 低所得 I (一部負担上限額 1,000円)

合計	
医保	56,000 円
(高額再掲	0 円)
特定疾患	24,000 円
患者	0 円
単県80	0 円
患者(最終)	0 円

高額療養費	
0	単県80
0	患者(最終)

→ 単県80の給付なし (ただし、単県80の受給者証の提示があった場合、レセプトに記載)